うるま市議会だより

題字を書いてくれた生徒
うるま市立与勝第二中学校
うるま → 徳山（とくやま）　茉音（まのん）
市議会 → 田場（たば）　まりん
だより → 大城（おおしろ）　潤晏（じゅんあ）

Vol.83
令和8年
2026年3月1日

旭区新年会　地域で新しい年をお祝い

比嘉区伝統芸能祭　芸能で地域おこしを！

照間自治会　防災・救命救急訓練
心肺蘇生法を学ぶ

田場学童クラブ　節分イベント
「鬼は外、福は内」

市議会のこと、もっと知りたい

contents　市議会早分かり

本会議での主な質疑…… P2～3
本会議での主な討論…… P4～5
公表します議案の賛否（12月定例会）…… P6
議決結果（12月定例会）…… P7
「市政に反映」一般質問　２９の視点（12月定例会）… P8～22
常任委員会の審査概要（12月定例会）…… P23
意見書の要請事項・編集後記 …… P24

米原区スポレク大会
みんなで協力！ボール渡し競技

うるま市議会では広報に関する**アンケート**を実施します。
QRコードからご回答いただけます 。
貴重なご意見をお聞かせください 。

（令和７年１２月第１８５回定例会）

報告第34号　専決処分の報告について（車両事故）

Q 仲程孝議員　事故発生から1年以上が経過しているが、報告までに日数を要した理由を伺う。

A 事故は令和6年7月9日に発生しており、免責証書を令和6年8月15日に作成している。相手方車両の賠償金として60万円を支払い、後日代車費用を含めた示談書を取り交わすこととし、手続きを進めていたが、車両所有者から全国市有物件災害共済会宛示談書の返送がなく、示談書の作成に至らず代車費用の支払いまで日数を要したもの。なお、今回の報告については代車費用の額が確定していることから専決処分とした。

報告第35号　専決処分の報告について（物損事故）

Q 仲程孝議員　事故発生から3年以上が経過しているが、報告までに日数を要した理由を伺う。

A 本案件は、事故発生後、被害者の方に修理の意向を確認したところ、ご自身が利用している修理工場での修理を要望していた。しかし、修理工場の修理件数が多く、予約が取れない状況である旨の連絡を受け、日程が確定したら、被害者の方から連絡を受ける約束をしていた。その後も担当課からの連絡不足や、被害者の方の仕事の都合などで日程が決まらず、日数を要したことが原因となっている。

議案第84号　令和7年度うるま市一般会計補正予算（第5号）

Q 上西真理議員　勝連・与那城地域まちづくり推進事業、設計等業務委託料650万円の設計内容、委託先、相見積りの件数有無、業者選定の流れについて伺う。

A 1点目、設計内容は、東照間商業等施設横の市有地について、今後まちづくりとの連携を強化するため、トライアル実証実験のフィールドとしての活用を検討しており、広場として整備するための実施設計となっている。2点目、委託先は、市内の土木設計コンサルタントを予定している。3点目の相見積りは、公園の設計業務等標準積算基準書を準用して委託料を積算しており、見積依頼等はしていない。4点目の業者選定の流れは、指名競争入札を予定。

Q 伊礼正議員　児童手当給付費1億6，708万6千円の詳細を。

A 給付費1億6，649万円は、前年度の児童手当制度の改正により、令和6年10月分より第3子以降の手当額増、高校生までの対象拡大、所得制限廃止等があり、当初予算では改正による影響が見込み難いことから、今回増額補正している。また、償還金59万6千円は、前年度の児童手当給付費の支給実績額が確定したことにより生じた国庫補助金の返還額である。

Q 仲程孝議員　小学校特別支援教育就学奨励費276万6千円について内容を伺う。

A 小学校特別支援教育就学奨励費は、特別支援学級の児童の保護者に対して、経済的負担軽減のため、就学に必要な経費の一部を援助するもの。当初予算では、支給予定者を224人と見込んでいたが、実際の申請者が、293人で69人の増となったため、増額補正となっている。

Q 平良一雄議員　生涯学習文化振興センター地下水対策事業、工事請負費648万5千円の説明を伺う。

A 当該センター地下には過去の調査で地下水脈の存在が確認されており、大雨の後にそれが上昇し、中庭などの地表にて滞留する状況が度々生じている。そのような状況を解消し当該施設への影響を軽減させるため、今回の事業を施工する。本年11月に請負契約した工事の内容変更を行うための追加工事費として増額となっている。

議案第89号　令和7年度うるま市下水道事業会計補正予算（第3号）

Q 金城加奈栄議員　建設改良費2億7，231万1千円について減額した理由は、津堅地区農業集落排水事業改良事業による入札不調のためとの説明だったが、どのような理由で入札不調となったのか。

A 理由については、津堅島農業集落排水中継ポンプ更新工事を指名競争入札方式として進めていたが、「手持ちの事業があり、受注困難」や「利幅が小さいと見込んだため」などの理由により、14業者全社入札辞退となり、入札不調となっている。

議案第99号　土地明渡請求事件の和解について

Q 幸喜勇議員　本件土地の適正価格をどのように捉えているかを伺う。

A うるま市普通財産売払事務取扱規程第4条により、固定資産税路線価を基に算出した額を採用している。今回は、固定資産税路線価格が1平方メートル当たり2，840円、0．7で割り戻した値、4，057円を適正の単価として採用している。よって、対象地の面積、128．86平方メートルに、4，057円を乗じ、52万2，784円が適正価格となる。

本会議での主な質疑

Q 高屋優議員　売買契約に関する分筆等のかかる費用の負担については別途協議とされているが、一般的に自治体が所有する土地（里道等を含む）を売却する際には、測量費・分筆登記費用・所有権移転登記費用といった必要な費用は、権利取得者である買主が負担するのが通常の取扱いであると認識しているが、本市の見解は。

A 費用の負担については、買主による負担が原則となるので、先方へは事前協議によりお伝えしており、ご理解を頂いている。今回の案件については、訴訟の相手方がもう一人いて、和解の可能性もあることから、別途協議と記載している。

議案第101号　沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業（設計・建設工事）請負契約についての議決内容の一部変更について

Q 糸数昌宗議員　沖縄県消防指令センターの建築費用のうち、広域的業務部分と市負担分について、今回の追加増額分の負担はどのようになっているのか。

A 沖縄県消防指令センターの建築費用については、今回の追加分も含めて、本市の事業として、本市が一旦負担する。

Q 金城加奈栄議員　主な変更である太陽光発電設備・蓄電池の追加について、太陽光発電設備は、主に施設内のどの部分で補う発電装備内容なのか説明を伺う。

A 当該設備により発電された電力は、主に施設1階部分のうるま消防本部事務室内のコンセント等に使用されることとなっている。

議案第107号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例

Q 伊盛サチ子議員　委員定数14人から7人に改正された場合、審議する機関として公平性が保たれるのか。

A 国民健康保険運営協議会は、被保険者代表、保険医等代表、公益代表は各同数、被用者保険代表についてはその数の半数以上同数以内をもって組織された機関のため、意見等が偏ることなく、それぞれの専門的な知識や立場で意見交換や審議等を行っている。

議案第111号　うるま市火災予防条例の一部を改正する条例

Q 真栄城隆議員　大船渡市の林野火災を契機として今回の条例改正とのことだが、当時の気象状況を見ると、乾燥注意報や強風注意報が断続的に発令されていたと承知している。今後の判断基準をどのように設定すべきか、熟慮すべきと思うが、本市の林野火災地域とはどの地域を想定しているか伺う。

A 令和7年2月26日に大船渡市で発生した大規模林野火災については、現地の2月の月間降水量が観測史上最少で、可燃物が乾燥していたことや、火災初期の強風により激しい燃焼と飛び火の発生が要因とされている。本市の発令基準については、総務省消防庁の発令指標に基づき、林野火災注意報は、前3日間の合計降水量が1㎜以下かつ前30日間の合計降水量が30㎜以下の場合、または、前3日間の合計降水量が1㎜以下かつ乾燥注意報が発表された場合のいずれかの条件に該当した場合を想定しており、林野火災警報については、林野火災注意報の発令に加え強風注意報が発表された場合を発令基準として想定している。区域指定については、森林法第5条の規定により都道府県の地域森林計画の対象となる区域を参考に大規模な林野火災発生の危険性を勘案することとしており、本市の区域指定については、石川岳周辺の森林区域、楚南、山城地区の森林区域、浜比嘉島の森林区域の3区域を想定している。

本会議ライブ・録画中継は、こちら
ホームページ
https://uruma-city.stream.jfit.co.jp

意見書及び決議の
詳しい情報は、こちら

請願及び陳情について詳しい情報はこちら
ホームページ
https://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162/854

ホームページ
https://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162/852

（令和７年12月第185回定例会）

議案第102号　うるま市職員定数条例の一部を改正する条例

▼賛成討論　【天願こうや　議員】

本案の核心は、激増する救急需要に対し、これまで固定されていた消防定数を実態に合わせて適正化することにある。まず直視すべきは、この10年で救急出動が約2，700件も増加し、年間約8，900件に達しているという事実である。出動件数がこれほど増えれば、当然、1台の救急車が現場から戻り、次の出動に備えるまでの余裕はなくなる。複数の現場が重なれば、遠くの署から駆けつけざるを得ず、それが現場到着時間の遅れという最悪の結果を招いている。現に10年前は8．5分だった平均到着時間が、現在は9．4分まで延びている。心肺停止などの緊急事態において、この1分の遅れは救命率を約10％低下させると言われている。救急件数が増えているのに職員数が足りないということは、市民の命を救うための時間が、刻一刻と削られているということである。現場の消防職員は、休む暇もない連続出動により、心身ともに限界ギリギリの状態で職務にあたっている。職員の疲弊を放置することは、判断力の低下を招くだけでなく、結果として到着時間をさらに遅らせるという、市民にとっての大きな不利益に直結する。今回の30名増員は、単なる人数の積み増しではない。件数が増えても、すぐに駆けつけられる体制を整え、失われつつある救命の「1分」を取り戻すための不可欠な投資である。限界まで踏ん張る職員を支え、市民の命を何があっても守り抜く。その当たり前の安心を未来へつなぐことこそ、私たちの責任である。救助を待つ市民の不安を希望に変えるため、本案の速やかな可決を強く求める。

議案第117号　うるま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
議案第118号　うるま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

▼反対討論　【金城加奈栄　議員】

条例改正の目的では、常勤の特別職（市長・副市長及び教育長）の給与について、一般職の職員の給与改定との均衡を考慮して、期末手当の引上げ改定となる。また、うるま市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、条例改正の目的はうるま市の一般職員及び常勤の特別職の賞与の引上げを考慮し、市議会議員の賞与の引上げ改定となる。市長及び特別職の期末手当、議員の期末手当は、人事院勧告に含まれていない。令和6年度決算書報告において、市税等の自主財源においても、前年度と比較すると1．7％減の29．9％と地方交付税や国・無支出金等の依存財源が7割を占める中、市債残高、基金残高を市民1人当たり、約34万円の借金に対し、貯金は13万円と市民には見えない負担がある。社会情勢においては、今年はさらに生活する上でも欠かせない食費の物価が上昇、光熱費等の引上げが市民生活に負担が多くのしかかっている中、さらに、今回の議会において、上下水道料金の引上げ案も提出されている。本市においても、少子高齢化社会という社会情勢による市民の実態も考慮し、暮らし、福祉に対する不安や厳しさが続き解消されない状況の中で、期末手当並びに報酬及び費用弁償等の引上げは、市民からも理解が得られるとは思えない。よって、反対とする。

議案第109号　うるま市水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第110号　うるま市下水道条例の一部を改正する条例

▼反対討論　【伊盛サチ子　議員】

提案理由は水道事業及び公共下水道事業の健全な経営を図るためとされている。県企業局の料金改定はその背景に、平成5年度の料金改定以降、経営の合理化、経費削減などを取り組み約30年間にわたって料金を据え置いてきた経緯がある。しかし、料金改定の要因には昨今の電気代の高騰や老朽化による施設更新費用の上昇、また県、市町村が管理する主要水道管等、約7割が未耐震化で、これらの費用等は一括交付金（ハード交付金）に頼ってきた。しかし、沖縄振興予算ハード交付金減額の影響は企業局の要望額と配分額の推移によると、2017年から減額傾向となり、2022年以降は約30％台にとどまり、ハード交付金の減額に伴って、市民、県民の生活に直結する水道料金改定にも影響を及ぼしているのではないか。市民、県民の負担軽減のためにも国が抜本的な予算措置を講ずるべき。また、本市のこれまでの上下水道料金の改定による直近の引上げによる影響は、水道事業では令和6年10月1日平均改定率8．55％、令和7年4月1日改定率2．08％、通算10．63％となり、3億2，400万円余り。下水道事業では令和4年4月1日、平均改定率23．61％、増収見込額1億6，100万、令和6年、7年と段階的引上げ改定が実施されたことで、上下水道料金の市民負担額は4億8，000万円余の増額改定となっている。今回提案されている条例改定では増収見込総額で5億8，400万円余になり、上下水道料金含め、段階的引上げが続くことは、市民所得の低い本市にとって、低所得世帯等への影響は大きく、長引く物価高騰のもとで厳しい状況にある市民生活を支える対応が今求められている。よって上下水道料金の引き上げとなる議案第109号、第110号の条例改正について反対とする。

▼賛成討論　【真栄城隆　議員】

今回の条例改正の大きな理由の一つが、水道施設の老朽化である。県企業局では、古くなった水道管や施設の入替え、地震対策の工事が急務で、そのために段階的な料金改定を決定した。この影響は、うるま市の水道事業にも直接及んでいる。実際、先日、県企業局の老朽化した水道管が破裂し、本市を含む本島中南部の多くの地域で断水、または断水の恐れが生じた。水が使えなくなることで、市民生活がどれほど混乱するのか、改めて思い知らされた。水道の老朽化は先送りできない今すぐ向き合うべき問題。こうした状況を受けて、本市では、市民への急な負担増を避けるため、料金を段階的に見直してきた。そして、これから必要となる工事や安全対策について、水道事業審議会で話し合った結果、令和8年4月から約15％の料金改定が必要であるとの結論に。水道管や施設更新を後回しにすれば、事故や断水のリスクは高まる。それは市民生活だけでなく、地域の経済活動にも大きな影響を与えか

本会議での主な討論

ねない。今回の料金改定は、子や孫の世代にも安全な水を届け続けるための必要な判断である。また、今回の改定は令和8年4月からの実施となっており、市民の皆さまに十分に周知し、理解をいただく時間も確保されている。あわせて、下水道使用料の改定も、下水道は水を浄化して自然に戻し、暮らしを清潔で安全に保つ大きな役割を果たしている。しかし、その下水道施設も、水道と同様に古くなっており、修理や更新が必要な時期を迎えている。人口減少や水の使用量の変化により、下水道事業の運営は年々厳しさを増す。何も手を打たなければ、大きな負担を次の世代に残すことになる。今回の下水道使用料の見直しは、下水道を安定して使い続けていくために、必要最小限の範囲で行うもの。市民生活への影響に配慮しながら検討された、やむを得ない改定であると考える。水道も下水道も、私たちの暮らしに欠かせない大切な公共サービス。安全で安心な生活環境を守り、将来にわたって安定したサービスを続けていくために、本議案に賛成とする。

▼賛成討論【天願久史　議員】

「市民の命と暮らしを守る持続可能なインフラの維持」という観点から、賛成の立場を表明する。昨今の物価高騰に直面する市民の皆様の家計を思えば、料金改定という決断が極めて重い苦渋の選択であることは言うまでもない。しかし、本件を慎重に精査した結果、現在の状況を放置することは、将来の安定した水の供給を放棄することに等しく、無責任な先送りは許されないという結論に。以下に、本案の妥当性について3つの柱で述べる。第1に、公営企業の根幹、独立採算制の維持である。本市の水道水は、全て県企業局から購入しているが、同局は既に令和6～8年に段階的な増額改定を決定。仕入れ価格が上がる中で本市が料金を据え置けば、水道事業会計は赤字へ。赤字経営は故障時の迅速な修理や日常の維持予算を削ることを意味し、結果市民サービスの低下に直結。第2に、本市のこれまでの経営経費削減の正当性である。当局は既に「職員数の削減」「委託業務の見直し」「企業債の繰上償還による利子軽減」「上下水道会計システムの共同化」など、経営努力を積み重ねてきた。内部努力で補える限界を既に超えていることは、上下水道審議会においても「適切な事業費の確保が必要」との答申を得ていることからも明らか。第3に、市民の安心・安全の確保、特に老朽管対策は緊急性を要する。本市の水道施設は80～90年代に整備されたものが多く、一斉に更新時期を迎えている。先日の北部での大規模漏水事故は、全県的な断水危機を招いた。埼玉県では下水道の破損、道路陥没による人身事故も発生。これは明日は我が身の教訓である。当局の説明どおり、インフラ整備に係る国庫補助金の充当率は、令和2年度の58.7％から令和7年度には30.5％まで著しく低下。国や県からの支援が細る中で、それでも市民の足元に埋まる「命のパイプ」を耐震化し、更新し続けるには、自助努力としての財源確保が必須。事業費を2～3倍の規模に拡大してでも、道路陥没や断水のリスクを最小限に抑えることは、行政が果たすべき最低限の責任である。反対討論では、市民負担への懸念が繰り返し述べられたが、強く指摘すべきは、負担を避ける思いが先行し、具体的な代替案が全く示されていないという点。どの事業を削減するのか、将来世代への負担をどう回避するのか。これらを具体的に示すのが議会人としての最低限の責任ではないか。上下水道というインフラは、一度壊れてしまえば、どれだけお金を積んでも即座に復旧できるものではない。市長は、他市町村と連携し、県や国に交付金の確保を強く働きかける決意を示された。この政治的努力を後押ししつつ、まずは本市として、10年20年後、更にその先の子供たちが安心して蛇口をひねることができる環境を維持するために、本議案を可決することが最善の道であると確信している。

▼賛成討論【池宮城善伸　議員】

水道・下水道事業は、利用者の皆さまの料金によって運営される独立採算制であり、安全で安定した水の供給を将来にわたり維持していくためには健全な経営を確保することが不可欠。本市では、給水区域が広く、管路延長も長いという地理的特性に加え、老朽化が進行し、更新や耐震化に多額の費用を要する。加えて、津堅島における海底送水管は昭和50年の敷設から50年が経過しており、令和8年度から令和9年度にかけて約20億円投じた敷設替え計画が進められる中、長期的な維持管理においても、将来世代に過度な負担を残さないことが大切。また、島しょ地域を含めた安定供給の確保は、喫緊の課題となっている。本市は、これまで人件費削減や業務効率化、漏水対策など、最大限の経営努力が重ねてきたが、それだけでは現行料金を維持することが困難であることは、明らかである。特に重要なのは、沖縄県企業局が段階的な料金改定を決定している中で、本市がその値上げに準じ、時期と水準を見極めた上で行う今回の改正は、急激な負担増を避けた、極めて現実的かつ妥当な判断であるという点である。料金改定を先送りすれば、必要な更新投資が滞り、設備更新の遅れを招き、結果として市民生活や島しょ地域の生活基盤に重大な影響を及ぼしかねない。今回の改正は、将来世代に過度な負担を先送りしないための責任ある決断である。

議案第112号　うるま市立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例

▼賛成討論【宮城一寿　議員】

地元津堅島区民及び津堅郷友会で組織した津堅ビティ島応援会が平成29年7月30日に結成し、今年で9年になった。津堅ビティ島応援会は津堅小中学校を継続するために、学校活動支援及び島への移住・定住促進活動を行っている。去る10月12日の津堅小中学校運動会は全校生徒11人による「仲間たちと笑顔を絶やさず津堅島で最高の思い出を作ろう」のテーマで運動会が行われた。区民による演舞及びうみんちゅもずくリレー、津堅郷友会・ビティ島応援会及び平敷屋小学校・あげな小学校・みどり町学童クラブの参加で津堅小中学校の運動会が盛り上がった。津堅小中学校があるがゆえに、島の皆さん・憩いの家の皆さんや津堅郷友会を含めた交流ができた。今回の条例改正は糸満市から津堅島へ移住者7人の内3歳と5歳児が入所できるためのへき地保育所を設置する条例。条例制定で津堅小中学校が継続され地域交流が増え、津堅島がさらなる夢の島として発展していく第一歩の条例改正である。

公表します！！議案の賛否

議案（全会一致を除く）に対する議員の賛否一覧（令和７年１２月第１８５回定例会）

議案番号	件名	議決結果	かけはし						新政クラブ				希望のいぶき				津梁						与開之会			うるま市民クラブ				日本共産党		無所属
			大城直	池宮城善伸	幸喜勇	玉城政哉	玉元哉世	比嘉直人	平良一雄	糸数昌宗	高屋優	真壁朝弘	仲程孝	国吉亮	又吉法尚	山城良太	伊波良明	神田洋一	國場正剛	下門勝	天願こうや	天願久史	藏根武	兼本光治	佐久田悟	伊波洋	伊礼正	上西真理	宮城一寿	伊盛サチ子	金城加奈栄	真栄城隆
議案第92号	指定管理者の指定について（うるま市いしかわ児童館（チャレンジ館））	可決 26：3	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
議案第102号	うるま市職員定数条例の一部を改正する条例	可決 27：0	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
議案第103号	うるま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決 27：0	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
議案第104号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決 27：0	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
議案第105号	うるま市重度心身障害者（児）医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第108号	うるま市立体育施設条例等の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第109号	うるま市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第110号	うるま市下水道条例の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第113号	うるま市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決 27：0	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
議案第114号	うるま市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決 27：0	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
議案第117号	うるま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第118号	うるま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決 27：2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

※議長は採決に加わりません。　○：賛成　×：反対　退：退席　欠：欠席　不：不在

令和７年１２月第１８５回うるま市議会定例会 議決結果

議案番号	案　　件　　名	提案者	議決日	議決結果
報告第32号	専決処分の報告について(道路区域内の事故)	市　長	令和７年12月5日	報　　告
報告第33号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第34号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第35号	専決処分の報告について(物損事故)	〃	〃	〃
議案第84号	令和７年度うるま市一般会計補正予算(第５号) (補正額:2,744,908千円　補正後の予算:90,702,709千円)	〃	12月11日	原案可決
議案第85号	令和７年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第２号) (補正額:18,302千円　補正後の予算:16,278,789千円)	〃	〃	〃
議案第86号	令和７年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第２号) (補正額:696千円　補正後の予算:1,643,711千円)	〃	〃	〃
議案第87号	令和７年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第３号) (補正額:2,644千円　補正後の予算:12,298,841千円)	〃	〃	〃
議案第88号	令和７年度うるま市水道事業会計補正予算(第２号)	〃	〃	〃
議案第89号	令和７年度うるま市下水道事業会計補正予算(第３号)	〃	〃	〃
議案第90号	指定管理者の指定について(うるま市コミュニティ防災センター) (指定する団体:平安座自治会、桃原自治会　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	12月19日	〃
議案第91号	指定管理者の指定について(うるま市みどり町児童センター) (指定する団体:一般社団法人縁joint　期間:令和8年4月1日～令和13年3月31日)	〃	〃	〃
議案第92号	指定管理者の指定について(うるま市いしかわ児童館(チャレンジ館)) (指定する団体:合同会社円Link　期間:令和8年4月1日～令和13年3月31日)	〃	〃	〃
議案第93号	指定管理者の指定について(田場学童クラブ) (指定する団体:田場区自治会　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	〃	〃
議案第94号	指定管理者の指定について(シビックセンター学童クラブ) (指定する団体:一般社団法人ゆいゆい子どもサポート　期間:令和8年4月1日～令和13年3月31日)	〃	〃	〃
議案第95号	指定管理者の指定について(うるま市学習等供用施設その他の施設) (指定する団体:喜仲区自治会ほか29自治会　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	〃	〃
議案第96号	指定管理者の指定について(うるま市農村環境改善センター等) (指定する団体:比嘉区自治会ほか2自治会　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	〃	〃
議案第97号	指定管理者の指定について(うるま市石川荷捌施設・漁民研修施設) (指定する団体:石川漁業協同組合　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	〃	〃
議案第98号	指定管理者の指定について(うるま市水産物鮮度保持施設) (指定する団体:石川漁業協同組合　期間:令和8年4月1日～令和18年3月31日)	〃	〃	〃
議案第99号	土地明渡請求事件の和解について	〃	〃	〃
議案第100号	本庁舎西棟外壁タイル及び屋上防水改修工事(その１)請負契約についての議決内容の一部変更について(変更増額:27,196,400円　変更後の契約額:197,646,900円)	〃	〃	〃
議案第101号	沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業(設計・建設工事)請負契約についての議決内容の一部変更について(変更増額:26,741,000円　変更後の契約額:3,480,741,000円)	〃	〃	〃
議案第102号	うるま市職員定数条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第103号	うるま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第104号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	〃	〃	〃
議案第105号	うるま市重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第106号	指定管理者の指定について(うるま市健康福祉センターうるみん) (指定する団体:社会福祉法人うるま市社会福祉協議会　期間:令和8年4月1日～令和13年3月31日)	〃	〃	〃
議案第107号	うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第108号	うるま市立体育施設条例等の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第109号	うるま市水道事業給水条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第110号	うるま市下水道条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第111号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第112号	うるま市立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第113号	うるま市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	〃	〃	〃
議案第114号	うるま市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	〃	〃	〃
議案第115号	うるま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第116号	うるま市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第117号	うるま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第118号	うるま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
発議第13号	交通安全施設(横断歩道・一時停止線・案内標識等)の適切な維持管理を求める意見書	市民経済委員会 委員長 兼本光治	〃	〃
陳情第53号	令和８年度社会福祉施策及び予算の充実について(陳情)	―	〃	趣旨採択
陳情第55号	「健康管理室」設置、並びに給特法施行に伴う業務量管理措置、並びに健康確保措置計画策定を求める陳情	―	〃	〃
陳情第57号	最高裁判所判決に基づく生活保護行政の改善と対応を国に求める陳情書	―	〃	〃

市政に反映 皆さんの声 一般質問

１２月９日から１２月１７日の７日間、１２月定例会における一般質問が行われ、２９人の議員が質問しました。

今回は「教育・福祉の充実や子育て支援」「道路・公園・排水路等の整備」「文化・観光振興」「消防・防災行政」など、市の一般事務に対して質問がありました。

掲載文は、各議員の質問と執行部の答弁を簡略にしたものです。実際には多岐にわたる内容となっています。
各議員の真剣な質問と執行部の誠意ある答弁は**録画中継**をご覧ください。

録画映像
トップページへ

議長　比嘉（ひが） 直人（なおと）

『**一般質問**』は、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、質問を求め、又は疑問をただすことをいいます。

電子取引

幸喜（こうき） 勇（いさむ） 議員（かけはし）

Ｂ to Ｂプラットフォーム 電子取引システム導入の提案

答弁…できるだけ早い段階で導入できるよう取り組んでいきたい

録画映像あります

うるまこどもステーション

Q 小児科医院が令和7年中の開院予定とあったが、その後の進捗状況を伺う。

A（上原こども未来部長）去る12月1日に「いっくるクリニック」が開院。

弁護士の採用

Q 市職員として弁護士資格を有している方の採用を提案するが、当局の見解を伺う。

A（山入端総務部長）令和6年度に常勤の任期付職員の募集を行ったが応募がなく、募集期間を延長するなどの対応も行ったが応募がなかった。

Q 沖縄県内だけでなく、日本弁護士連合会を通して他県の弁護士にも応募することで、本市に移住してくれる方もいるのではないかと思うが、当局の見解を伺う。

A 弁護士を募集する際には日本弁護士連合会を通しての募集についても検討する。

DX推進

Q 令和7年度中の対応が義務づけられている自治体情報システムの標準化の進捗状況を伺う。

A（山入端総務部長）コスト削減や事務効率化及び特定のシステム会社への依存解消や個別システム改修費用の削減、庁内システムや国と自治体間のデータ連携を統一・標準化することで事務の効率化、時間短縮に向けて取り組んでいる。国の検証事業に参加し、本年度中の本稼働を目指してきたが、各業務の事前運用テストの段階で不具合等が発生し、標準化パッケージの技術的課題が判明したことから、システム会社と協議の上、令和8年度中の本稼働に向けてスケジュールを調整している。住民情報など、重要なデータを管理する立場から安全な移行作業を優先して延伸の判断をした。

物価高騰

糸数 昌宗（いとかず まさむね） 議員（新政クラブ）

市民生活負担の軽減にどこまで踏み込む覚悟があるのか

答弁…現金給付かクーポンか、地産地消と活性化で悩むところ

録画映像あります

小学校クラブ活動 環境格差

Q 日没後スマートフォンの明かりだけを頼りに片づけや移動を行うという極めて危険な状況である。これは活動時間の工夫で解決できる問題ではなく、学校施設として最低限確保すべき安全の問題。ここで改めて確認したいのは、現状の暗所での片づけ等が教育委員会として安全上問題があると認識しているか、問題と認識するのであれば、最低限の対策として、倉庫付近や動線部分への小規模照明の設置、もしくは照明機器使用のための屋外電源の整備のいずれかは必要ではないかという点である。私は大規模なLED照明を整備してくれ、グラウンド全面に照明をつけてくれと言っているわけではなく、せめて子供が安全に片づけて帰れるだけの最低限の明るさを確保する手段として、照明が難しければ屋外電源を設置し、簡易的な明かりをつける、使用環境の整備という選択肢もある。教育委員会として、安全確保を最優先とした場合、照明、または屋外電源のいずれかは早急に必要であるという認識があるのか。

A（兼城社会教育部参事）日没後の活動は安全面から課題があり、取組が必要と認識。対策については、まず所管部署と連携し、各小学校での冬場の日没前活動時間短縮の有無や、屋外照明設備設置状況など、全体把握に努める必要があると認識しており、その後対策を検討していく。

日没後、スマホの明かりだけで片付けを行う屋外部活動のイメージ

健康増進

真壁 朝弘（まかべ あさひろ） 議員（新政クラブ）

銀座通り大型モニターを活用したラジオ体操実施について

答弁…関係機関と協議し、実施の可能性について検討する

録画映像あります

交差点信号機改善

Q 石川ヨゼフ幼稚園～石川消防署坂交差点、信号機改善、進捗状況を伺う。

A（松岡市民生活部長）11月末頃から朝の通勤、通学時間や夕方の帰宅時間にて、信号機の右折時間の延長を実施している。

パークゴルフ場誘致

Q 石川高速高架橋下を活用したパークゴルフ場を整備できないか伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）民間提案等により活用したい事業者があれば、必要に応じて高架橋下の管理者と協議していきたいと考えている。

さくらねこ（TNR）

Q 地域猫TNRに取り組むボランティアの負担軽減策は。

A（松岡市民生活部長）市公認のボランティア団体が不妊手術チケットを直接申請できる仕組みの構築、保護器の無料貸出しが実施できるよう令和7年度中には準備しているところ。また、術後の餌代については一部補助を検討している。

餌代、消耗品代、ケージやトイレの整備費、清掃費、移送費など保護費用が多くかかる

※その他「ふるさとうるま自治会活動応援事業」「石川川浮き草の除去」について質問しました。

石川銀座通りにある大型モニター

街づくり

池宮城 善伸（いけみやぎ よしのぶ） 議員（かけはし）

国立自然史博物館の誘致に向けた本市の関わりは

答弁…国立自然史博物館の沖縄誘致に向け調査・研究を進める

録画映像あります

あげな小駐車場問題

Q あげな小学校正門周辺で慢性的な駐車場不足や交通渋滞が発生しているが、こどもの安全確保に向けた具体策をどう検討・実施するのか伺う。

A（兼城社会教育部参事）児童数増加により教職員等も増え、駐車場の絶対数不足が続いている。児童の安全確保を最優先に関係機関と連携し抜本的な解決に取り組む。

A（諸見里こども未来部参事）送迎集中で駐車場不足や渋滞が発生。近隣公園の一時活用も含め調整・協議を重ねてきたが、有効な打開策は見いだせていない。

中学校との統合の可能性

Q 将来の学校建設を見据え、具志川小で約40億円、仮設プレハブに約6億円要した事例も踏まえ、コスト抑制や小中連携の観点から、中学校との統合を含めた学校整備の可能性をどう考えるのか伺う。

A（宮城社会教育部長）小中一貫校の整備は制度上可能だが、多額の費用が伴う。児童・生徒数や通学安全、地域への影響、財政負担等を総合的に検討し、持続可能な学校配置を調査・研究する。

平良川3—18号線

Q 補助金等活用した舗装補修状況と実施時期は。

A（名嘉眞都市建設部長）損傷著しい平良川3—18号線を年度内目標で修繕。

平良川線　舗装損傷箇所を緊急修繕

Q 平良川～川崎線路面標示の進捗状況は。

A 交付金活用し、安慶名～県道8号線区間の路面標示を年度内完了。

外側線 4,480 m、センターライン 377 m整備

地域負担

神田 洋一（かみだ よういち） 議員（津梁）

ドローン規制拡大による不利益と災害時の連絡体制構築は

答弁…支障には迅速に対応しドローン運用の体制を調査・研究する

録画映像あります

ドローン規制拡大の不利益と対策

Q ドローン飛行禁止区域の拡大検討による生活や経済活動への支障について、市の認識を問う。

A（大田防災広報対策部長）拡大検討は報道にあるが国の専管事項であり、現状の市としての見解は差し控える。

Q ドローン規制拡大に伴う不利益の認識と、災害時の運用に向けたホットラインの構築を伺う。

A 支障には速やかに対応し、ホットラインを調査・研究する。

Q ホットラインの早期構築とその業務を担う部署は。また、不利益を国に明示するための基礎データ整備の検討を提案する。

A 時期は明示できないが防災・基地渉外部署が担当し、データ整備の件は調査・研究する。

持続可能な公民館の在り方とは

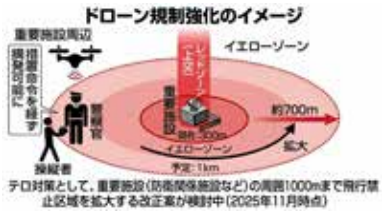
Q 担い手不足や老朽化に備え、単独所有にこだわらない共有・合築等の持続可能な集会所モデルの検討も必要と考えるが。

A（松岡市民生活部長）存続の危機感を持つことで単独所有から共有・合築等の持続可能な新モデルにつながると考える。

Q 公園内へ設置の可能性や収益を会長報酬に充てる「稼げる集会所」モデルを提案する。

A 公園内設置は可能。収益を報酬に充てる仕組みなど、持続可能な運営に向け調査・研究する。

※その他「天願川整備」について質問しました



宮城（みやぎ） 一寿（かずとし） 議員（うるま市民クラブ）

教育観点

市内公営競技の場外券売場建設について

答弁…青少年健全育成を優先する立場で、施設建設は反対の立場

録画映像あります

行政全般

Q 令和8年度獅子舞・ウスデーク計画は。

A（宮城社会教育部長）獅子舞とウスデーク団体も出演。8年度も令和7年と同様な事業を検討。

字具志川

Q 具志川371番地周辺浸水対応について。

A（名嘉眞都市建設部長）排水路内堆積物を清掃。

勝連・平敷屋地区

Q 集落内米軍車両迷い込み対策について。

A（大田防災広報対策部長）ホワイトビーチ向け大型案内板変更は自治会と調整。

島しょ地域の地区別課題

Q 津堅島への新年カレンダー支援と民生委員配置について。

A（松岡市民生活部長）平敷屋旅客待合所に配布ボックスを設置。

A（田崎福祉部長）新民生委員配置に取り組む。

Q 浜ビーチ前公衆トイレ水浴び禁止看板は。

A（名嘉眞都市建設部長）12月1日に設置。

Q 平安座島認可地縁団体への助言について。

A（松岡市民生活部長）一部規約に基づかない行為の可能性もあり、適正運用を助言したい。

Q 平安座島排水溝清掃について。

A（名嘉眞都市建設部長）堆積物を確認。経過観察し日々維持管理に努める。

Q 漁協上原・宮城支部と採石業者との協議参加は。

A（座喜味農林水産部長）協議参加の予定はない。

Q 伊計島旧ウニ養殖場施設撤去について。

A（座喜味農林水産部長）9月2日県へ進達済み。

市民の声

Q 移動図書館及び図書館でのパソコン使用。

A（宮城社会教育部長）移動図書館は事業見送り。現図書館でのパソコン使用は可能だが配慮が必要。

玉元（たまもと） 哉世（ちかせ） 議員（かけはし）

冠水対策

江洲区・赤道区の雨水幹線工事計画の進捗状況は

答弁…令和９年度に実施設計、令和 10 年度より工事着手の予定

録画映像あります

こども医療費助成制度

Q「こどもへの投資」は最も費用対効果の高い政策と考えるが。

A（諸見里こども未来部参事）全国市長会において、こども医療費、国の保障制度創設を要望している。

交通弱者の移動支援

Q 免許返納者や交通弱者の増加は見込まれ、買物の確保は行政として支援体制の整備は必要。

A（田崎福祉部長）社協等と連携を図り、調査・研究を進める必要がある。

道路・公園インフラ施設の包括的民間委託

Q 市民、民間事業者、行政の3者がしっかりメリットがあるのか。

A（名嘉眞都市建設部長）市民サービス向上が期待され企業側にも恩恵があるものと考えている。

AIによる衛星画像解析漏水調査

Q 水道事業の持続性を確保するための一つの手段として検討すべきでは。

A（座間味水道部長）他市状況を確認して検証を行い導入を検討したい。

サンゴを活用した観光振興・環境保全

Q 本市も東海岸版サンゴの里として発信可能か。

A（岸本経済産業部長）観光の活性化について関係機関と意見交換を行いながら検討。

赤道区県道224号線交通安全対策

Q 住民の安全確保のため力添えを。

A（松岡市民生活部長）合同会議を開催し協議したい。

兼箇段高江洲線整備

Q 財源確保の見通しは。

A（名嘉眞都市建設部長）優先的な配分を講じるなど、制度運用の中で早期の事業完了を目指したい。

国吉 亮（くによし りょう） 議員（希望のいぶき）

提言実現

うるま市山芋スーブ大会を石川地域で開催することの要望

答弁…ＪＡおきなわ石川支店食農感謝まつりにおいて開催予定

録画映像あります

各種要望と提案

Q ＳＮＳ型投資詐欺やオンラインカジノ等による消費者被害拡大防止における、市民向けセミナー実施の要望。

A（松岡市民生活部長）ＳＮＳ型投資詐欺やフィッシング詐欺を含むインターネット詐欺について、市民や高校生向けのセミナーは検討している。効果的な講演会について、調査・研究していく。

Q 提案していた沖縄県後期高齢者医療広域連合における長寿・健康増進事業の特別対策補助金の活用について進捗状況を伺う。

A（古謝市民生活部参事）特別対策の補助金活用については、今年度から健康長寿カレンダー配布事業を実施する。カレンダーの内容としては、健診受診勧奨、介護予防やフレイル対策など健康維持に役立つ情報を毎月紹介するものとなっている。

Q カレンダー作成にかかった金額を伺う。

A カレンダー作成の予算額は45万6千円である。

沖縄県後期高齢者医療広域連合における長寿・健康増進事業の特別対策補助金の活用を議会で提言。その後介護予防＆フレイル対策カレンダーが作成されました。

市民からの声を問う

Q うるま市山芋スーブ大会を石川地域で開催してほしいと要望した。進捗状況を伺う。

A（座喜味農林水産部長）ＪＡおきなわ石川支店で、食農感謝まつりにおいて開催予定。

※その他「ウォーターＰＰＰ」「緊急事態への取組と対応」「地域優良賃貸住宅制度」について質問しました。

國場 正剛（こくば せいごう） 議員（津梁）

県外派遣

補助を受けて県外で優勝した場合、次年度も補助対象か

答弁…補助対象外となっている

録画映像あります

教育行政

Q ウスデークを授業や学校行事に取り入れてみることを提案するが見解を伺う。

A（鹿川学校教育部長）学校運営協議会に提案し、地域と学校がその可能性について検討する。

Q 建物や運動場の安全管理について。

A（兼城社会教育部参事）学校側で月1回の安全点検を実施している。

Q エアコン設置、体育館の空調設備について。

A 文部科学省補助による空調設備整備臨時特例交付金の活用等を含めた調査・研究を進めている。

安慶名まちづくり

Q 県道75号線の歩道の利活用について。

A（名嘉眞都市建設部長）歩行者利便増進道路、通称ほこみちの指定による歩道空間の活用を考えている。

道路・公園等の維持管理

Q 包括的民間委託について。

A（名嘉眞都市建設部長）包括的民間委託とは、受託した民間企業が創意工夫やノウハウの活用により、効率的、効果的に業務を実施できるよう、複数の業務や施設を包括的に委託すること。

Q 包括的民間委託を導入検討に至った経緯について。

A 市民に対して安心・安全なインフラを持続的に提供するためには、より効率的かつ持続可能な維持管理体制を構築することが重要と考え、市民、民間事業者、行政の3者それぞれに効果が期待できる包括的民間委託の導入検討を開始した。

Q 先進地視察等の実績があれば伺う。

A 新潟県三条市や東京都府中市に赴き、現地視察及び意見交換を実施している。

天願（てんがん） こうや 議員（津梁）

ＡＩ教育で残業削減！専門アドバイザー導入を要望

AI活用

答弁…専門アドバイザーと連携し、ＡＩ活用研修を計画する

録画映像あります

少年野球チームの練習場所がない！

Q 具志川小学校のグラウンド改修工事に伴い、練習場所が限られた少年野球チームは、練習場所を確保するのに苦労している。限られたスペースでもいいので練習場所が欲しい。こうした市民の声に応えるために、具志川球場ブルペンの利用がない場合は練習場所として利用させてもらえないか。

A（岸本経済産業部長）当該ケースも借用可能。

Q 2月から阪神キャンプが始まり、さらに練習場所がなくなる。具志川地区に公園が整備されていれば、練習場所として、一時的に利用もできたが、こうした現状を考えれば改めて具志川地域に公園の整備が早急に必要だと感じている。キャンプ期間中に練習場所がなくなることについて当局はどのように考えているか。

A キャンプ・合宿等により具志川野球場が利用できない期間中については、近隣の小学校のチームと合同練習を行うなど、各チームにおいて練習場所の確保を調整いただきたい。

1時間単位の撤廃！ゆらてくWEB予約へ

Q 現状の1時間単位の「正時予約」だと、仮に19時30分から予約したい人は30分の利用しかできない。柔軟な予約を行うためにWEB予約の導入を要望するが。

A（宮城社会教育部長）WEB予約の導入を検討する。

仲程（なかほど） 孝（たかし） 議員（希望のいぶき）

現地調査も行われているが、今後の具体的な対応は

赤道広場

答弁…再度、赤道自治会より広場整備についてヒアリングを行う

録画映像あります

鳥インフルエンザ対策

Q 趣味としてチャーンやタウチーなどを多数飼育している市民にもしっかり対策を講じてほしいが。

A（座喜味農林水産部長）文書による通知、チラシ等を郵送して注意喚起を行い、家畜飼養の報告や野生鳥獣の死骸を発見した際の連絡などを周知している。

伝統芸能・民俗芸能伝承活動事業

Q 次年度以降も事業を引き続き継続すべきと考えるが、当局の見解は。

A（宮城社会教育部長）次年度も引き続き、事業を継続していきたいと考えている。

総合体育館整備運営事業

Q 地方債63億円を起債するが、より有利な地方債を活用するために、今後どのような取組が必要か。

A（金城企画部長）公共施設等適正管理推進事業債や緊急防災・減災事業債の活用について、県と協議しながら取り組む。

Q 当該敷地における災害時のヘリコプターへの対応はどのようになっているのか。

A 大規模災害時のヘリポートについては、具志川野球場を使用する計画である。

全島獅子舞フェスティバル

Q 入場制限となった時間帯があった。その理由と入場制限の基準について伺う。

A（宮城社会教育部長）あらかじめ設定していた3千人を超えた時点で制限を行った。

赤道自治会要請

Q 赤道公民館周辺遊休地を活用し、広場整備を進めている。危険箇所への対策は。

A（名嘉眞都市建設部長）広場利用者の安全確保と排水路維持管理の面から検討する。

高屋（たかや） 優（ゆう） 議員（新政クラブ）

ホテル誘致に伴い県道37号線の付け替えでリゾートエリアを

経済活性

答弁…一部付け替えや歩行者デッキ整備を含め検討する

録画映像あります

経済活性化

Q旧与那城庁舎周辺、県道37号線沿道、海の駅あやはし館周辺は、東海岸観光ルートの重要拠点であるが、土地利用の遅れや契約問題により、にぎわい創出が進んでいない。県道37号線を旧県道37号線へ付け替えるビーチフロント化は、感動体験リゾートエリアの形成につながると考える。課題の整理と優先順位、ホテル誘致の規模について伺う。

A（金城企画部長）与那城庁舎周辺のエリアについては、公共的土地利用の一部を民間活動エリアに転換することで、観光消費の拡大と地域に波及する経済活動を生み出すことが重要であると考えている。県道37号線沿道については地権者合意を前提に課題を整理し、民間参入意欲を踏まえて優先度や工程を検討する。あやはし館の再整備時期については、一定の方向性が見えてきたことから、どういった規模の集客施設を想定するかなど、マリンアクティビティの拠点化に合わせて総合的に検討する。県道37号線全体の付け替えは困難だが、一部付け替えや歩行者デッキ整備を含め検討を継続する。ホテルは100～200室規模を想定。

Q中城湾港新港地区の魅力をどのように評価しているのか。東埠頭周辺は浅瀬が多く、追加の埋立てにより中城湾港新港地区の土地を約30％拡大できる可能性がある。国・県と連携し、埋立て拡張の可能性調査を行うべきではないか。実現すれば新産業の誘致による雇用・所得・税収の増加が期待できる。

A（岸本経済産業部長）中城湾港新港地区は本市産業の核であり、港湾管理者である沖縄県と意見交換を行いながら、その具体化について検討していきたい。

伊盛（いもり） サチ子（さちこ） 議員（日本共産党）

宮城島からの土砂搬出2万6500台、農道補修工事は

土砂搬出

答弁…地域住民の生活に支障がないよう維持管理に努めていく

録画映像あります

窓口業務委託

Q窓口業務従事者の平均給与36万5千円の支払いについて見解を伺う。

A（松岡市民生活部長）事業者の専門性と機動性、ノウハウを活用し、市民サービスを実施するため必要な費用と考えている。

Q会計年度任用職員の平均給与、民間委託との差額について。

A会任職員の平均給与は19万5千円。差額については、繁忙期の増員分、社会保険料、教育訓練費など、間接人件費や一般管理費が含まれている。

福祉行政

Q高齢者外出支援タクシー助成の導入を。

A（田崎福祉部長）財源確保や運営体制の課題、施策の優先性、公平性など慎重な検討が必要。

冠水対策

Q与勝の里入り口付近の冠水対策改善に向けた整備予定について伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）令和10年度に勝連南風原長田排水路事業として整備予定。

公園整備

Q勝連総合グラウンド再整備計画の今後のスケジュール、住民説明会について伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）令和8年度実施設計、令和9年度用地測量及び一部工事等を行う。説明会は実施設計後の令和9年度当初に予定。

再整備が期待される勝連総合グラウンド

伊礼 正（いれい ただし） 議員（うるま市民クラブ）

小・中学校におけるいじめはないか

学校教育

答弁…令和６年度３月末認知件数
小学校１，１９２件、中学校 63 件

録画映像あります

川田区場外舟券売場建設

Q 11月16日の区民投票で建設反対の意思表示がされた。市として建設反対の意思表示をすべきではないか。

A（松岡市民生活部長）うるま市は建物等の建築許可等に係る許可権限を与えられた行政機関であり、賛成か否かの表明は適切ではない。

学校教育

Q 昨今は全国的に、教員による児童・生徒に対するわいせつ行為が見られる。わいせつ防止策はあるのか。

A（鹿川学校教育部長）教職員研修の確実な実施を求め、人権意識の高揚、綱紀粛正、服務規律の確保の徹底を図っている。

Q 監視カメラの設置は考えられないか。

A 映像データの管理や運用体制を慎重に検討する必要があり設置は厳しい。

合併20年・うるまハタチ

Q 合併協定書を踏まえ、旧2市2町の均衡ある発展をしてきたと考えるか。

A（金城企画部長）均衡あるまちづくりの観点において課題もあると認識。

Q 限界集落の今後の活性化、人口増加をどのように考えているか。

A 移住支援設備の整備、農水産業の基盤整備、児童館機能の整備、市道の老朽化対策、介護保険地域密着サービス施設の設置など、様々な取組を実施。

※その他「ハラスメント・カスハラ」「宮城島土砂採掘」「新たな産業集積地」「認可地縁団体」「旧与那城庁舎周辺と県道37号線沿道の利活用」「給食センターと与那城地区公民館跡活用」「東海岸開発基本計画」について質問しました。

藏根 武（くらね たけし） 議員（与開之会）

防犯カメラが設置されていない学校がある。今後の対応は

安心安全

答弁…状況確認や設置場所等を、関係部局と連携・協議したい

録画映像あります

教育行政

Q 学校からの要望があれば防犯カメラの設置を要請したいが、学校現場での防犯対策はどのように行っているのか伺う。

A（鹿川学校教育部長）学校では不審者対策として校門や校舎の出入口の管理を徹底し、登下校時以外は校門を閉め、児童玄関は必要な出入口以外は施錠するなど、敷地や校舎への出入りを管理可能な範囲に限定している。

Q 防犯教育はどのように行っているか。

A 各学校では学校の実態に応じた学校安全指導計画を作成し、教育課程の中に位置づけている。防犯教育に関する内容としては、警察と連携した防犯教室の実施や、長期休業前には休みの日に外出したりする際の安全な過ごし方や心構えの確認、日常的に登下校における不審者から身を守る行動などを繰り返し指導している。

地域活性化

Q 海中道路入り口の東側のヘドロや臭いについてどのように考えているのか。

A（松岡市民生活部長）本市では、これまで用水路や干潟への浄化剤の散布、屋慶名自治会と共同による清掃活動などを行ってきたが、残念ながら改善には至っていない。現在、悪臭解消につながる根本的な原因究明と総合的な対策が見いだせないことから、地域との意見交換や検討会議が十分に進んでいない状況である。現時点においては具体的な方針は定まっていないが、引き続き地域住民との意見交換や関係機関と協議を進めていきたいと考えている。

環境改善が求められる海中道路入り口東側付近

共生社会

佐久田（さくだ） 悟（さとし） 議員（与開之会）

手話を使いやすい社会を目指す手話言語条例制定への取組

答弁…周辺自治体の状況や先進事例を参考に慎重に検討を進める

録画映像あります

うるま市におけるマイナ保険証の現状

Q マイナ保険証切替えの現状と普及促進の取組について。

A（古謝市民生活部参事）国保のマイナ保険証登録率は10月末で46．5％、後期高齢者医療は7月末で47．6％、マイナンバーカード未所持者へは資格確認証を送付し、マイナ保険証利用方法やメリット記載チラシを同封して利用促進を図る。

障がい者支援施策

Q 障がい者や高齢者の方への役所の窓口対応等の現在までの取組について。

A（田崎福祉部長）障がい福祉課に手話通訳者を配置し、コミュニケーション支援アプリの活用や音声拡声器の設置を通じて円滑な窓口対応に努めている。

Q 障がいの種類を問わず、気軽に参加できるスポーツ施策環境整備の取組について。

A（岸本経済産業部長）今後整備される市総合体育館は年齢や障がいの有無などにかかわらず障がい者が利用しやすい施設整備が予定され普及促進に取り組む。

Q 児童・生徒へも共生社会構築へ向けた教育の取組は重要だと考えるが。

A（鹿川学校教育部長）学校では福祉体験として車椅子での移動やアイマスクなどを使用した感覚遮断などの体験を通して、日常生活に存在する困難を実感し理解するなどの授業を行っている。

再生可能エネルギーと環境施策

Q 公共施設等への太陽光発電設備設置は。

A（松岡市民生活部長）先進自治体の取組を参考に可能性を調査・研究していきたい。

Q 使用済み太陽光パネル大量廃棄への対応は。

A 処分には技術面、制度面から慎重な検討が必要。今後、国の制度動向や処理技術の進展を踏まえながら検討したい。

観光PR

大城（おおしろ） 直（なおし） 議員（かけはし）

マリンアクティビティのPR動画配信は可能か

答弁…マリンスポーツ大会の広報・周知等の協力は可能

録画映像あります

道路行政

Q 現在着工している勝連4―77号線の進捗状況について伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）勝連4―77号線は、平敷屋後原道路改良工事として、令和8年3月完成を目指している。

Q 勝連2―1号線、土砂崩れ箇所の進捗状況について伺う。

A 勝連2―1号線地滑り拡大防止工事は令和8年3月完成に向け鋭意努力している。

勝連総合グラウンド再整備

Q 勝連総合グラウンド整備計画の展望と時期について伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）基本計画では、活動広場や大型遊具、バスケットコート、屋内での交流ができる管理棟のほか、災害時のヘリポートや防災備蓄倉庫も計画している。

観光行政

Q ウイングフォイル全国大会が近づいているので、周知・広報活動以外にも消波ブロックの滑り対策と打ち上がった海藻の対策について伺う。

A（岸本経済産業部長）海岸管理者の沖縄県中部土木事務所に対し、滑り対策や海藻回収について協議していく。

津堅島戦争遺構

Q 旧津堅島灯台跡の歴史遺産登録の進捗と環境整備について伺う。

A（宮城社会教育部長）旧灯台跡の周辺整備は文化財指定等が行われた後、地域住民の協力を得ながら整備計画の作成、整備実施となる。

真栄城 隆（まえしろ たかし） 議員（無所属）

重点支援地方交付金で水道基本料金を無償にできないか

水道軽減

答弁…軽減策により市民生活全体の一定の効果をもたらすもの

録画映像あります

住宅リフォーム支援事業

Q 夏の高温対策に先進的窓リノベは、コンクリート住宅が多い沖縄では有効。国の事業に併用促進ができないか。

A（田場都市建設部参事）組織の体制づくりが必要である。近隣市町村の状況等を注視し、調査・研究を行いたい。

飼い犬の登録と狂犬病予防

Q 外国人による飼い犬の登録と狂犬病予防について伺う。

A（松岡市民生活部長）令和7年11月末時点の登録件数は215件、そのうち狂犬病予防注射接種件数は37件。

Q 飼い犬が大型犬ピットブルにかみ殺されるという痛ましい事故が発生した。米軍人や家族が生活を始める際、日本や沖縄の生活ルールを学ぶオリエンテーションが実施されるが、そのプログラムの中にペットの飼い方に関するモラルやマナーを組み込めないか。

A 市民の安心・安全を確保する上で、適切な管理の徹底は重要な課題であると認識。沖縄県全域に関わる問題であることから、県及び防衛局に対し、米軍のオリエンテーションにおける犬の適切な係留や管理ルールの周知について、要請していくことが適当である。

重点支援地方交付金

Q 本市では新型コロナウイルス対策の時期も含め、これまで水道料金の減免を実施したことがないが、市民の負担を軽減できる機会である。本市の所見を伺う。

A（金城企画部長）水道については、市民誰もが利用されるものであることから、軽減策により市民生活の全体の一定の効果をもたらすものと考えている。今後、提案も踏まえ、本市の実情に合った効果的な支援策が講じられるよう、対策を検討していきたい。

保育事業

金城 加奈栄（きんじょう かなえ） 議員（日本共産党）

津堅島保育事業等の受入れ事業を実施するのか

答弁…令和８年４月開所に向け、３歳児からの受入れを調整

録画映像あります

こども誰でも通園制度

Q 何歳までが利用可能なのか、利用料金の設定、非課税世帯などの料金、給食費等の利用料金など、どうなっているのか。

A（諸見里こども未来部参事）現段階での利用人数は未定。利用料金や給食費等は、国の方針が示されていない。

救急患者搬送専用船

Q 搬送船導入はできないのか。また、津堅消防団での伊江村への視察はできないのか、見解を伺う。

A（宮城消防本部参事）搬送船配備は24時間体制で搬送に関わる船員を複数名確保する必要があり、施設の整備や維持管理体制に係る費用など、様々な課題がある。消防団員の伊江村視察は今後検討。

産業集積促進事業土地活用

Q 各地域でも農業で家計を支えている方も多くいると思うが、市の所見は。

A（岸本経済産業部長）営農者への影響は農政部局と調整を行い、産業集積の可能性を慎重に検討。

Q 令和8年3月、産業集積基本計画を策定予定とのこと、農業委員会の要望集約もされていない中での計画策定は早過ぎるのでは。食育、地元の地産地消の観点も守りつつ、対応してほしい。

A 基本計画策定後も検討区域やスケジュールの変更、中止の可能性があることを説明会の中で説明をしている。市全体の経済振興、経済の発展に資するよう進めていく。

津堅島漁港区内南側整備

Q 南側区域内には市有地がある。モズク養殖種などの漁業者への活用について計画はできるか。

A（座喜味農林水産部長）具体的な整備要請があれば内容を精査し、区域内活用について整理した上で、様々な視点から検討していきたい。

兼本 光治（かねもと みつはる）議員（与開之会）

与那城庁舎の現在の状況について伺う

跡地利用

答弁…現状での利活用や解体の可能性をサウンディングし検討

録画映像あります

うるま市エイサーまつり

Q 次年度のエイサーまつりについて。昨年度から安慶名十字路、交差点でエイサーまつりを開催しているが、次年度与那城陸上競技場へ戻すのか。

A（岸本経済産業部長）与那城陸上競技場は、人工芝上での飲食禁止、重量物設置が不可能なため維持管理上大変厳しい。

与那城地区公民館

Q 与那城地区公民館が取り壊される中で、今後の事業計画について伺う。

A（宮城社会教育部長）解体後、関係各課と連携を図り、調査・研究する。

旧与那城庁舎

Q 旧与那城庁舎の現状について伺う。

A（金城企画部長）現状のままでの利活用やリノベーションによる利活用の可能性について、現在事業者へサウンディングを実施し、今後の方向性について検討を行っている。

Q 今後の事業計画について伺う。

A 西側の多種目球技場や東側の与那城総合公園の土地利用やゾーニングを踏まえ、引き続き事業者対応を実施し、跡利用の方向性について取りまとめていきたい。

Q 多種目球技場エリアに宿泊施設の誘致を検討し、東側の公園エリアは機能強化と環境整備を検討しているとあったが、今後について伺う。

A 関係課と協議を進めて、都市公園全体のゾーニングを検討していきたい。

今後の利活用が期待される旧与那城庁舎

玉城 政哉（たまき まさや）議員（かけはし）

県立中部病院の現地建て替えが進捗しない理由は何か伺う

中部病院

答弁…受託業者の決定が令和７年９月になり進捗が遅れている

録画映像あります

本市の道路側溝の管理

Q 本市における老朽化した道路側溝の取替修繕、新設などの検討はしているのか。

A（名嘉眞都市建設部長）市民からの通報による確認を行っており、その後に老朽化や損傷の程度の確認、がたつきの有無、排水能力が不足しているかなどを調査し、財源確保の上、側溝修繕に取り組んでいる。

小型二輪バイク試乗用ナンバー交付

Q 試乗用ナンバーの交付導入に当たり、本市でも小型二輪バイクの試乗用ナンバーを交付する必要があると思うが見解を伺う。

A（島袋財務部長）試乗用ナンバーの交付については、条例制定が必要なことからも市の法務担当とも調整が必要。今後、研究していきたい。

うるまハタチ記念全国闘牛サミット

Q 今回10年ぶりに本市で全国闘牛サミット大会が開催されたが、大会における趣旨、目的は何か伺う。

A（岸本経済産業部長）闘牛文化の保存・継承と魅力を国内外へ発信し、闘牛が持つありのままの迫力と地域力を体験価値へ変え、交流と観光を促進し、地域振興に結びつけることを目的としている。

Q 本市で開催された全国闘牛サミット大会にて、本市において経済効果は結びついたか伺う。

A 飲食店マップの提供や三線演奏による歓迎ムードの演出など、消費活動を促す取組を実施した。結果として、県外参加団体のほとんどから飲食店へ繰り出したと聞いており、それなりの経済効果は得られたと考えている。

下門（しもじょう） 勝（まさる） 議員（津梁）

民主主義

住民投票の実施が、住民意思を軽視するなという議会への訴えだ

答弁…市としては、広く住民の意思を尊重し行政運営に努めていきたい

録画映像あります

舟券売場建設等に関連する事項

Q 川田地区での議論が十分に熟していない段階、すなわち住民投票が実施される前に市域全体を事実上拘束する否定的な決議を下した点が大きな問題である。これは、慎重さを著しく欠いた判断であったと言わざるを得ない。行政はどのように受け止めたか伺う。

A（松岡市民生活部長）市政運営は、市民の声が市や市議会において反映されることが重要と認識。

福祉行政

Q SOSネットワーク事業は認知症や高齢者等、迷い人の命を守る上で極めて有効な手段であり、障がい者への対象拡大を図る必要があるが。

A（中村市長）市としても障がい者を加え、推進していきたい。

Q 移動支援事業、一律60時間でなく利用者ごとの状況に応じた個別的な支給決定が可能か伺う。

A（田崎福祉部長）必要に応じて検討していきたいと考えている。

Q 障がい者施設等で手作りされた小物等を行政視察で来庁された方々に土産として提供する仕組みを構築してはいかがか。

A（中村市長）就労継続支援事業所で製作された製品の活用を広げてもらいたいとのことで、ぜひ行っていきたいと思う。

犯罪被害者支援条例に関連する事項

Q 犯罪被害は被害者やその家族の人生に長期にわたり深刻な影響を及ぼす。実効性のある犯罪被害者等支援条例の一日も早い制定を強く要望するが。

A（松岡市民生活部長）現状と課題を整理し、条例制定に取り組みたい。

※その他「道路（農道）等の安全対策（補修・修繕・除草及び樹木伐採）」「地域経済活性化等」「電子クーポン、デジタル商品券等」「ほこみち等」について質問しました。

平良（たいら） 一雄（かずお） 議員（新政クラブ）

施設改善

伊波小学校の校舎中庭グリーン広場、舗装の修繕を伺う

答弁…補修範囲や方法など専門業者と調整し、対応を検討する

録画映像あります

石川地域まちづくり推進計画

Q 石川ＩＣ周辺交流拠点の進捗を伺う。

A（金城企画部長）用地取得や13事業者とヒアリングで、計画との適合性を精査。

Q 石川庁舎の利活用の推進について伺う。

A 民間事業者とのトライアルを通じて市場性や課題を検証中で飲食事業者等から高い関心が寄せられている。

Q 東恩納周辺の土地利用の進捗を伺う。

A（名嘉眞都市建設部長）今後は事業手法の選定や基本計画の策定を進める。

第5次行政改革大綱

Q 大綱の重点戦略を伺う。

A（山入端総務部長）人材育成や事務事業の見直し、ＤＸ推進、ＡＩ活用等が重点戦略。

Q 財政調整基金の残高と重要プロジェクトと呼ばれる事業の総額と内訳は。

A（島袋財務部長）基金残高は31億８千万円で、標準財政規模（約３１０億）の１割を下回らない財政運営を行う。重要プロジェクトは総合体育館整備約１６３億、新石川調理場整備約38億等６事業、総額約４１４億円。

学校現場における現状と課題

Q 小学校における支援が必要な児童数と支援員の人数及び見守りが必要な事案の対応策は。

A（鹿川学校教育部長）支援を必要とする児童は３３０人、支援員は38人で、特別支援教育アドバイザーを配置し、児童の行動を観察し、学校管理職や担当教員へ指導・助言を実施している。

Q 教師の心理的負担軽減方策として学校での電話録音システム導入を伺う。

A 各学校の電話回線の種類や回線数等を調査する必要があると考えている。

※その他「空家等対策」について質問しました。

上西 真理（うえにし まり） 議員（うるま市民クラブ）

始業式・終業式の式服は選択可能で自由と書面配布を願う

式服自由

答弁…義務ではなく経済的負担に十分配慮することを改めて周知

録画映像あります

ランドセル以外の通学かばん

Q経済的負担を考慮し選択を許可するか。

A（鹿川学校教育部長）県や市の指針や義務づけはない。ランドセル以外の通学用かばんの登校も認める。

空き家・空き巣対策

Q島しょ地域だけでなく、全域での空き家バンク導入は。

A（田場都市建設部参事）有効な活用方策の一つとして検討していきたい。

※その他「手話通訳士育成支援」「点字で選挙公報の配布と候補者氏名が記載された用紙の準備有無」「市役所の障害者雇用率と合理的配慮対応」「支援学校勤務経験教員による小・中学校連携」「小・中学校と県立特別支援学校との生徒交流実績」「生理の貧困対策とナプキン代助成、学校での対応」「市役所に特定屋外喫煙場所の設置」「照間地区の下水道整備、水道コンセッション方式と水道民営化の予定」「小・中学校での薬物乱用防止の取組と保護司出前授業の検討」「体験・啓発型イベントで矯正展の開催検討」「会館ホール備品の導入」「照間地滑り対策整備促進要請の現状」「県道・大田～照間線、歩道の隆起の修繕要請」「県道37号線雑木伐採根っこの対応」「田場横断歩道付近の信号設置」「パブリックコメント募集検討」「勝連B&G海洋センター実績と地権者との契約や支払い」「あやはしマラソンインボイス領収書発行」「ふるさと納税を増やす戦略」「全ての国保加入者へ資格確認書を発行要請への対応」「中城湾港新港地区における企業立地・産業集積の推移」について質問しました。

山城 良太（やましろ りょうた） 議員（希望のいぶき）

読書介助犬の導入について

学び支援

答弁…情報を収集し、研究していく

録画映像あります

防災

Q災害発生時の避難について、難聴、弱視、避難行動要支援者への対応可能な体制づくりについて伺う。

A（田崎福祉部長）地域での自主防災組織とともに行政と情報共有しながら地域会議の実施に向けて取り組んでいく。

Q自治会と地域、防災士との体制づくりについて伺う。

A地域に点在する福祉施設や商業施設とも連携し、輪を広げていく。リーダーとなり得る防災士のネットワーク化と適切な防災情報の共有化等も効果的と考えている。地域の福祉力、防災力を高める体制づくりを考えている。

ごみに関連する事項

Q家庭ごみの設置場所について、身体的考慮は図れているのか。

A（松岡市民生活部長）相談を受けた場合にご自宅を訪問し、生活状況等も含め収集業者と現場確認を行い、安全が確保できる方法で実施している。

Q相談できない方々がいないか気になる。行政側から訪ねる仕組みや機会はあるか。

A対応は難しいが、ご家族や自治会を通しての相談をしていただければ速やかに対応する。自治会にも情報交換が可能か検討する。

キャリア教育

Qキャリア教育を始めて効果と生徒の変化について伺う。

A（鹿川学校教育部長）将来、仕事や生活をする上で必要となる基礎的・汎用的能力や非認知能力の育成に効果が出ている。

※その他「児童・生徒の虫歯予防」「DX化」「補聴器用電池の処分」について質問しました。

伊波（いは） 良明（よしあき） 議員（津梁）

子育て支援として全天候型屋内こども遊び場施設を提案！

こども館

答弁…他市町村の当該施設の事例や活用状況等を調査・研究する

録画映像あります

こども遊び場関連

Q日差しを避けて遊べる屋内施設や公園遊具・広場等へ屋根の設置を提案。

A（上原こども未来部長）地域の子育て支援センターや児童館は屋内で保護者も一緒に利用できる。また、複数の施設には日除けのある砂場や園庭が開放されている。

A（名嘉眞都市建設部長）財源確保や維持管理に課題がある。今後の遊具設置等の際にはそれらを念頭に検討する必要がある。

上下水道事業

Q公共下水道への早めの接続を促すため補助金の増額を提案するが見解を伺う。

A（座間味水道部長）関係部署と調整を図り、他市町村の状況等を調査・研究する。

産業誘致

Q製造業や物流業を誘致したいとのことだが、物流業界は2024年問題など厳しい状況である。企業誘致の戦略を伺う。

A（岸本経済産業部長）県の普通倉庫、冷蔵・冷凍倉庫の寄託貨物は増加しているが、那覇周辺では用地不足とのことから誘致対象業種としている。

ごみ問題

Qごみ再資源化推進に向けプラスチック製容器包装の分別収集を考えるが。

A（松岡市民生活部長）循環型社会の形成やごみ減量化として有効。設備更新や人件費等が懸念されるが幅広く研究したい。

Qプラスチック処理再資源化工場誘致の考えや補助メニュー等の有無について。

A（岸本経済産業部長）ものづくりを支えるサポーティング産業の立地を推進しており、現時点では検討していない。

A（松岡市民生活部長）環境省の補助金があるが、次年度以降の実施は国の方針が示されていないので現時点では確定していない。

伊波（いは） 洋（ひろし） 議員（うるま市民クラブ）

令和６年度、地方債残高、債務負担行為の金額について

決算認定

答弁…地方債残高約４３３億円、債務負担行為約４０８億円

録画映像あります

令和６年度決算状況

Q歳入歳出額、実質収入額、積立金の状況を伺う。

A（島袋財務部長）令和６年度歳入総額が７９８億５千万円、歳出総額は約７６７億１千万円、実質収入額24億３千万円。財政調整基金16億３千万円を積立て。

Q財政状況の財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率について伺う。

A自力で財源確保示す財政力指数は０．４９、弾力性を示す経常収支比率は９６．８％ 地方債返済の割合を示す実質公債費比率は６．１％。

Q積立金残高の減債基金、財政調整基金、特定目的基金の額について伺う。

A地方債の償還に備える減債基金43億１千万円、財政調整基金41億７千万円、特定目的基金54億４千万円となっている。

Q納税市民一人当たりの所得金額、県内市町村と比較しての順位を伺う。

A市町村内総生産所得では４位、市民一人で割ると県内41市町村中40番目。

Q財政状況指数の前年度比較、県内11市と比較した順位について。

A財政力指数は０．４９、経常収支比率は９６．８％、実質公債費比率は６．１％。県内11市と比較、財政力指数は高いほうから７番目、経常収支比率は高いほうから２番目、実質公債費比率は低いほうから３番目。

うるま市感動産業特区

Q事業件数、金額を伺う。

A（金城企画部長）本市の認知度向上と歴史文化・伝統芸能などＰＲし、令和４年、５年度計２件、６年度１件、７年度２件を実施。４年度８百万円、５年度９，１０４万円、６年度２，２９７万円、７年度２，７９９万円と５千万円。

※その他「石川地域事業計画」「未買収用地案件」「石川ＩＴ事業センター」「石川肥前原土地改良区」「あやはし館」について質問しました。

天願 久史（てんがん ひさし） 議員（津梁）

相撲競技

2034年開催国スポ相撲競技の本市開催誘致について

答弁…具志川ドームで開催可能な競技として沖縄県に要望

録画映像あります

イグサの生産振興

Q照間ビーグの存続も踏まえ本市公共施設及び新火葬場においての活用は。

A（佐久川副市長）公共施設への活用はまだ不十分。新たな火葬場については、地元産の照間イグサを取り入れる予定。

若者就業支援プログラム

Q市独自の特性を生かした新たな取組、地域産業との連携強化やデジタルスキル訓練の充実などについて伺う。

A（岸本経済産業部長）本市産業構造上の特徴として、建設、情報通信、製造業への就職比率が高いことから関連事業者と訓練の充実なども含めた支援について関係各所と意見交換を行っている。

中型免許・準中型免許取得支援

Q企業の人材不足解消に向け、免許取得費用補助支援や企業との共同支援制度について伺う。

A（岸本経済産業部長）本市支援策はないが、厚労省の教育訓練給付制度の中で対象。議員ご案内の企業との共同支援制度について意見交換していく。

市・ソフトバンク市民デジタル活用支援等に関する連携協定

Qデジタル格差解消に向けた具体的取組について伺う。

A（山入端総務部長）高齢者やスマホ初心者向け教室やマイナカードを活用した市民生活に直結する実践的なサポートをソフトバンク支援員が行う。

国技「相撲」

Qスポーツコンベンション戦略の検討状況について伺う。

A（岸本経済産業部長）相撲競技の大会やうるま市スポーツキャンプ・合宿等推進事業補助金もPRしながら、合宿の新規誘致や継続実施につなげていきたい。

対策支援

又吉 法尚（またよし のりひさ） 議員（希望のいぶき）

いじめの未然防止、早期発見、早期対応、サポート体制は

答弁…いじめを発見した際には、学校組織として早期に対応する

録画映像あります

県立学校家族休暇制度

Q県立学校で試験的に実施している制度へ合わせる形で家族で一緒に過ごすことを目的に取得がしやすい環境整備をうるま市小・中学校に導入してほしいが、教育長の考え方を伺う。

A（嘉手苅教育長）まずは導入した団体の実施の効果、課題などについて注視していきたい。本市における導入の必要性、保護者のニーズ、期待できる効果、制度設計について判断していきたいと考える。

うるま市消防女性消防吏員採用

Q今後10年、うるま市の女性消防士の採用計画、採用人数目標等があるのか伺う。

A（福地消防長）総務省消防庁が推進する女性消防吏員の割合は5％以上としており、本市に当てはめると7人の採用を目指していく。良い人材確保に努める。

中学生の携帯電話、学校への持ち込み

Qうるま市中学生の携帯電話所持率を伺う。

A（鹿川学校教育部長）令和2年12月に実施した調査によると中学生が約75％。

Q私なりに調査してみた。大体90％近くが携帯電話を持つ時代に来ている。そろそろ条件付きで中学生でも高校生のように学校へスマホの持ち込みを認める時期になりつつあると思うが当局の考えは。

A中学校への携帯電話の持ち込みについては、各学校において携帯電話利用の利便性とリスクを生徒の主体的な参画の下、教職員や保護者と意見交換を重ねて判断するもの。

11月24日に起きた断水

Q市でも断水時の市民救済の方法を疑似体験する必要があると考えるが。

A（座間味水道部長）断水時の疑似体験訓練は他市町村の事例等を参考にしたい。

令和７年１２月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・発議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

総務委員会

当委員会では、議案９件、陳情１件を審査した。

主な審査内容として『うるま市職員定数条例の一部を改正する条例』について、委員から「職員定数を見直す際、類似団体との整合性を確保したと説明があったが、類似団体の考え方はどうなっているのか」との質疑があり、当局から「類似団体については、総務省で設定されており、本市の類似団体は59団体となっている。今回、この類似団体から、面積、住基人口、普通会計職員数、人口１万人当たりの職員数、一般行政職員数の５つの条件で比較を行い、最も本市に近い状況にある30団体を抽出し、それらと比較し、定数設定の一つの参考根拠として、今回の条例改正案を提案している」との答弁があった。また、委員から「条例改正により職員定数が減ることになるが、新たな職員採用については、どのように考えているのか」との質疑があり、当局から「職員の採用については、定年退職や普通退職等の状況を踏まえ、総合的に勘案し、職員定数内で採用していくことになる」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情１件は継続審査となった。

建設委員会

当委員会では、議案７件、陳情３件を審査した。

主な審査内容として『うるま市水道事業給水条例の一部を改正する条例』について、委員から「料金改定を行わなければ赤字になるため、条例改正に至ったとのことだが、改正後黒字化となるシミュレーションはできているのか」との質疑があり、当局から「今回の料金算定においては令和８年度から令和12年度までの５年間の収支見通しを踏まえて計算をしており、県の料金改定や老朽化対策を加味し、なおかつ市民負担が大きく増加しないような適切な水道料金水準を考慮しながら算定を行っており、収支が黒字となる計画である」との答弁があった。また、委員から「経営改善に向けての取組について」質疑があり、当局から、「定員適正化計画による職員数削減、委託業務の見直し、繰上償還による利子負担軽減、漏水対策強化に伴う無効水量の削減などに取り組んでいる」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情３件は継続審査となった。

教育福祉委員会

当委員会では、議案12件、陳情３件を審査した。

主な審査内容として『指定管理者の指定について（田場学童クラブ）』に関連して、委員から「田場学童クラブの指定管理期間について、他の施設では期間は５年となっているが、10年となっている理由は」との質疑があり、当局から「指定管理期間は５年を基本としているが、田場学童クラブについては、田場自治会に併設されている形となっており、効率的かつ効果的な観点から、公募によらない方法での選定になっている。平成28年の供用開始から田場自治会のほうに指定管理を委託しており、10年間の指定管理を実施して特段大きな問題もなく、地域からも好評を得ている施設であることから、引き続き、田場自治会のほうに10年間の指定管理期間を設けて選定を行った」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情３件は趣旨採択となった。

田場自治会に併設して設置された田場学童クラブ

市民経済委員会

当委員会では、議案10件、陳情10件を審査した。

主な審査内容として『令和７年度うるま市一般会計補正予算（第５号）』について、委員から「歳入、指定寄附金、40万９千円の増額内容について」質疑があり、当局から「明治安田生命保険相互会社からの寄附金で、健康づくり関連での活用を望まれていることから、窓口への血圧計設置などの活用を検討している」との答弁があった。また、『指定管理者の指定について（うるま市健康福祉センターうるみん）』について、委員から「当該施設のこれまでの管理運営形態について」質疑があり、当局から「供用開始後は市直営となっており、平成29年度からは指定管理者制度を導入していたが、健康・運動分野での活用が増えている一方で、福祉分野の強化などの課題があり、課題整理のため今年度は市直営とし関係機関との協議を行った」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情10件は継続審査となった。

発行：うるま市議会　編集：議会広報特別委員会　〒904-2292　うるま市みどり町 1-1-1　電話 098-973-3511　FAX 098-973-8123　メール gikai-kyoku@city.uruma.lg.jp　印刷　赤道印刷㈲

意見書の要請事項

◆交通安全施設（横断歩道・一時停止線・案内標識等）の適切な維持管理を求める意見書◆

市民経済委員会
委員長　兼本　光治

議決日　令和７年12月19日

【提案理由】
市民の生命・財産及び安心・安全な生活環境を守る立場から、交通安全施設（横断歩道・一時停止線・案内標識等）の適切な維持管理を求めるため提案する。

【意見書要旨】
うるま市においては、横断歩道や一時停止線、案内標識などの交通安全施設が著しく劣化した状況が続いている。白線等が消えかかっている箇所や完全に消失している箇所が多数見受けられ、その結果、特に雨天時や夜間には標示が視認できず、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場面で一時停止しない車両が多く、歩行者事故の危険性が増大している。

加えて、教育施設や保育施設、商業施設周辺、さらには米軍施設周辺の道路では、子供や高齢者、外国人歩行者が頻繁に通行しており、交通事故防止の観点からも優先的な整備が不可欠であり、市民の生命と財産を守ることは、市と県が共有すべき最も重要な責務である。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産及び安心・安全な生活環境を守るため、交通安全施設の適切な維持管理に関し、下記事項を強く要請する。

【要請事項】
1．継続的な維持補修を可能とする十分な予算の確保
2．計画的な維持管理体制の確立
3．横断歩道・一時停止線・案内標識等の劣化箇所に対する早期補修・再塗装の徹底
4．教育施設・保育施設・商業施設及び米軍施設周辺における早期補修・再塗装の優先的整備

令和７年度　各常任委員会　県外行政視察

総務委員会

【実施日】10月27日～30日
【視察先】長崎県五島市、熊本県熊本市
【目的】移住定住施策、ゼロカーボンシティ、地域担当職員制度について調査・研究し、今後の活動に資することを目的に実施した。

長崎県五島市が取り組む移住定住施策について、説明を受ける様子

建設委員会

【実施日】10月21日～24日
【視察先】新潟県三条市、長岡市
【目的】道路公園包括的維持管理委託、ＡＩ画像解析漏水調査ほか３項目について調査・研究し、今後の活動に資することを目的に実施した。

新潟県三条市にて地下式調整池の現地視察を行う様子

教育福祉委員会

【実施日】10月21日～23日
【視察先】兵庫県尼崎市、明石市、大阪府大東市
【目的】重層的支援体制推進、子供・子育て支援施策について調査・研究し、今後の活動に資することを目的に実施した。

大阪府大東市が取り組む子育て支援施策について、説明を受ける様子

市民経済委員会

【実施日】11月5日～7日
【視察先】福岡県北九州市、福岡市
【目的】観光・産業・農業振興及び環境施策について調査・研究し、今後の活動に資することを目的に実施した。

福岡市が取り組む農業政策（スマート農業）について、説明を受ける様子

編集後記

はいたい　ぐすーよー　ちゅーうがなびら。今年は丙午。60年に一度巡る、情熱と勢いが非常に強く、新しい産業や技術が進化し、変革や飛躍のチャンスの年だそうです。うるま市も、大きく飛躍する年になりますように！

今年度も見やすく、読みやすい議会だよりを意識して編集いたします。是非ご一読の上、ご意見、表紙掲載写真をお寄せください。

【新玉ぬ年に　歌三線ゆ奏でぃ　うるま万人（うまんちゅ）ぬ　幸ゆ願ら】。

新年を迎え、市民の皆様の幸せを願い、三線弾き初めをいたしました。何事もウマく行くよう頑張ります。

（氏名：上西真理）

委員長　平良一雄　副委員長　天願久史
委　員　兼本光治　真壁朝弘　上西真理
玉元哉世　玉城政哉　神田洋一
金城加奈栄　国吉　亮

お詫びと訂正

令和７年１２月１日に発行しました議会だより第８２号の記載に一部誤りがございました。

P20　下段
又吉 法尚 議員の記事
大見出し答弁中

誤…令和８年１月２８日日曜日

正…令和８年１月１８日日曜日

訂正してお詫び申し上げます。

２月定例会は２月26日（木）から開会を予定しております（定例会は２月・６月・９月・12月の４回開催）